山形県立寒河江高等学校　令和9年度入学者選抜　前期(特色)選抜
普通科　探究コース　集団討論について

山形県立寒河江高等学校

このＱ＆Ａは、本校の集団討論受検生用のものです。

Ｑ　何時から開始するのですか？
Ａ　受検日の午後を計画しています。詳細は募集要項をご覧ください。

Ｑ　1グループ当たりの人数は何人ですか？
Ａ　5人程度を考えています。

Ｑ　1グループ当たりの討論時間は何分ですか？
Ａ　30分程度を計画しています。

Ｑ　どのように討論は進むのですか？
Ａ
①　控室に誘導係が迎えに行きます。誘導係から案内された面接室に入室して討論します。
②　入室したら指定された席に座ってください。
③　面接官が司会役となります。
④　地域社会の諸課題についての資料を、決められた時間で読んでもらいます。
⑤　司会役の進行によって議論します。
⑥　司会役の進行によってまとめをします。
⑦　集団討論が終了したら、誘導係が下校場所に案内し受検は終了です。
⑧　下校後は再入校することはできません。

Ｑ　発言はどのタイミングですればよいのですか？
Ａ　自分の考えがまとまった受検生から挙手してもらいます。その挙手をもとに、司会役が指名します。

Ｑ　発言する制限時間はありますか？
Ａ　発言時間の制限は基本的にしない予定ですが、他の受検生の発言機会にも配慮をお願いします。
最後の「まとめ」は発言時間を指定します。

Ｑ　メモをすることは可能ですか？
Ａ　机上にメモ用紙と筆記用具を準備しておきます。自由に使用してください。持ち帰りはできません。

Ｑ　どのようなテーマについて討論するのですか？
Ａ　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）を踏まえたテーマを設定します。
中学生が、地域社会の諸課題について、その解決に向けて意見を述べ合うことができるようなテーマを設定します。

Q　受検生の答えについて、どのような観点で評価するのですか？
A　①省察する力、②働きかける力、③創造する力、④考え抜く力の4観点で評価します。

Q　この観点における「省察する力」とは何ですか？
A　この観点における「省察する力」は、意見を述べ合い議論したことについて、自分の学びを振り返り考えること等を評価します。

Q　この観点における「働きかける力」とは何ですか？
A　この観点における「働きかける力」は、グループ内の他者の意見について、同意や反論、意見の付加、他者の意見を参考にした新しい提案等を評価します。

Q　この観点における「創造する力」とは何ですか？
A　この観点における「創造する力」は、自分や他者の解決策に対する社会的価値への気づき、解決策から生じる新たな問題の発見、今後の独創的解決へのアプローチ等を評価します。

Q　この観点における「考え抜く力」とは何ですか？
A　この観点における「考え抜く力」は、資料に基づいた解決すべき課題への洞察、解決に向けた自分の意見を理由とともに明確に表現すること等を評価します。

Q　集団討論に臨むに当たり留意することはありますか？
A　入退出の所作などの礼儀作法や発声の大きさを過度に心配する必要はありません。緊張せずに司会役や他者の意見もよく聞いて、落ち着いて自分の考えを自分の言葉で述べてください。

Q　集団討論に当たり配慮してほしいことがある場合はどうすればよいですか？
A　まずは中学校の先生に相談してみてください。必要に応じて中学校を通して寒河江高校に連絡をいただく場合もあります。

Q　集団討論の評価結果はどのように選抜に使われるのですか？
A　調査書情報（学習の記録）40％、調査書情報（「学習の記録」以外）20％、集団討論40％の割合で選抜資料とします。

Q　前期（特色）選抜の結果は、いつ、どのようにわかるのですか？
A　令和9年1月28日（木）16時に山形県公立学校 Web 出願システムにより選抜結果を通知します。
　ただし、合格者の発表は、令和9年3月17日（水）16時に山形県公立学校 Web 出願システムにより行います。

Q　合格内定後の中学校生活で留意することはありますか？
A　学習習慣を維持して中学校段階の学習内容をしっかり身につけて入学してください。中学校で覚えるべき知識がどれだけ定着しているかが、大学進学に必要とされる能力のベースになります。
　中学校での学習にしっかりと取り組むとともに、問題集や参考書などを目標を決めてコツコツとやってみてはどうでしょうか。